



本日のプレゼン内容

- 横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯
- 横浜市の概要
- 横浜市における国際園芸博覧会
- 今後のスケジュール





横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯

～旧上瀬谷通信施設の返還～

旧上瀬谷通信施設



2



横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯

～旧上瀬谷通信施設の返還～



3



横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯

■米軍施設として土地を提供 昭和26年(1951)～平成27年(2015)



- ・土地利用が制限されていたため開発が遅れていた
- ・平成27年6月に全域が返還



農業振興と都市的土地区画整理事業による郊外部の新たな活性化拠点形成の起爆剤として、**国際園芸博覧会（A1）の招致を推進**



4



横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯

～検討経緯～

年月	内容
平成27年6月	上瀬谷通信施設返還
平成28年度	国際園芸博覧会招致に向け本格的検討開始
平成29年6月	「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会」設置
平成30年3月	「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想案」策定
平成30年6月	国へ旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の開催要請
平成31年2月	「国際園芸博覧会の横浜誘致を成功させる横浜市議員の会」設立
平成31年4月	「国際園芸博覧会招致推進室」設置
令和元年5月	県内・市内の関係団体・関係機関の参加による「国際園芸博覧会横浜誘致推進協議会」設立
令和元年7月	国際園芸家協会(AIPH)による横浜視察



5



本日のプレゼン内容

- 横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯
- 横浜市の概要
- 横浜市における国際園芸博覧会
- 今後のスケジュール



横浜市の概要

政令指定都市

面 積 (2018.3.23)

435.43km²

人 口 (2019.8.1)

374万8,473人

世帯数 (2019.8.1)

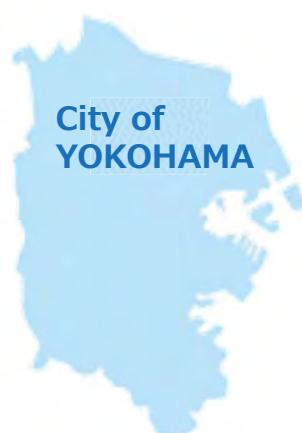
170万9,616世帯

外国人人口数 (2019.7.31)

101,601人

市内総生産 (28年度)

13兆5,596億円





横浜市の概要

～観光MICE都市～



アフリカ開発会議(2013)



アジア開発銀行年次総会(2017)



8



横浜市の概要

～スポーツを通じた賑わいづくり～

2002 FIFA World Cup



Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020



RUGBY World Cup 2019™



9



横浜市の概要

～文化芸術創造都市～

Dance



Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018

Music



横浜音祭り2016

Art



ジョコ・アヴィアント 《善と悪の境界はひどく縮れている》2017

ヨコハマトリエンナーレ2017展示風景

撮影：加藤健 写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会



10



横浜市の概要

～第33回全国都市緑地よこはまフェア～



11



横浜市の概要

～ガーデンネックレス横浜～



12



横浜市の概要

～園芸博を通じたまちづくりの展開～

2017

全国都市緑化
よこはまフェア

ガーデン
ネックレス
横浜

2027

国際
園芸博覧会

理念の継承、発展
レガシー展開

2028～

- 未来へ博覧会を通じた
提案・まちづくり
- ・郊外部の活性化拠点の形成
 - ・観光、交流人口の増加
 - ・都市ブランドの向上
 - ・地域経済の活性化
 - ・市民力の向上
 - ・花や緑、農を活かした先導的なまちづくり

ガーデンシティ横浜



13



本日のプレゼン内容

- 横浜市における国際園芸博覧会の検討経緯
- 横浜市の概要
- 横浜市における国際園芸博覧会
- 今後のスケジュール



14



横浜市における国際園芸博覧会

～理念～

- ・地球環境持続のための環境社会への転換
- ・国連SDGs（持続可能な開発目標）の取組
- ・超高齢化社会への対応

課題への対応

- ・戦略的な自然共生の知恵と仕組みの共有
- ・課題を価値に転換する技術革新や産業領域の創出
- ・経済成長と社会的な成熟に向けた国際的な行動の展開が必要

日本が、国際的な取組を先導し、
新たな環境社会の構築と経済活性化
につなげていくことが重要

15



横浜市における国際園芸博覧会

～理念～

横浜

活力と基盤、実績

- ・開国後、海外との植物輸出入の玄関口
- ・都市の緑の保全、創造等の取組を先導
- ・世界的な大都市の環境モデル
- ・374万人の市民力、多彩な企業・団体の活動
- ・ガーデンシティの形成が政策目標の一つ



横浜・上瀬谷で花と緑をシンボルに、
地球環境の持続、経済成長、成熟社会等を展望した
未来志向の国際園芸博覧会（A1）を開催

16



横浜市における国際園芸博覧会

～開催意義～

■国際的視点

- ・国連SDGsへの貢献
- ・第4次産業革命にバイオテクノロジーが融合する**第5次産業革命の進展**
- ・日本の優れた自然共生の知恵や文化を発信し、相互共有による**多文化共生や友好平和を推進**



17



横浜市における国際園芸博覧会

～開催意義～

■花と緑、博覧会の視点

- ・国際的な園芸ビジネスの機会の提供等により、**花き園芸の市場拡大に貢献**
- ・日本の華道や庭園等の芸術文化に触れる機会を契機に、**自然への理解と行動を促進**
- ・教育、健康、医療、福祉、芸術等への花と緑の新領域構築による**新たな価値観やサービスを創出**



18



横浜市における国際園芸博覧会

～開催意義～

■日本・横浜・上瀬谷での視点

- ・国内外との交流により、**首都圏の観光・MICEや観光立国、地方創生、次世代の産業創出や経済成長に貢献**
- ・国際都市横浜の多様な魅力を世界に発信し、**地域経済の活性化や都市ブランド等のさらなる向上**
- ・博覧会会場となる**旧上瀬谷通信施設の土地利用を促進し、郊外部の活性化モデルとして圏域を振興**



19



横浜市における国際園芸博覧会

～メインテーマ～



20



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開～

■事業展開の考え方

- ・横浜・上瀬谷にしかない時間・空間・価値を世界と共有する。
- ・次世代を担う世界の子どもたちをはじめ関わる全ての人とみんなでつくり・育み続けられる展開を進める。
- ・人々の交流を創り続け、最先端技術等にあわせて常に進化(深化)を先導する。

21



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開～

■日本・横浜・上瀬谷の魅力と活力を発信する要素



基本構造として

「グリーンインフラ」を位置付け

22



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開イメージ～

“グリーンインフラ ～グリーンシティを支える計画・技術の提案～”



23



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開イメージ～

“ランドスケープ・アドベンチャー ～リアルとバーチャルによる世界の園芸空間～”



24



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開イメージ～



25



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開イメージ～

“ランドスケープ・アドベンチャー ～リアルとバーチャルによる世界の園芸空間～”



26



横浜市における国際園芸博覧会

～事業展開イメージ～

“横浜農場とワールドマルシェ ～次世代農業と食文化体験～”



27